

虹の素 雨上がりには好きだといって Vol.6 (8月編)

「オリキュレールの糸」

桜木想香

それは、女の子なら誰もがときめく
夢のような恋のあこがれ

CAST

指原小雪 こゆび ……2年F組。恋愛に否定的だが、運命論者。
七種かこ スノウ ……2年F組。アプリで盛ることとSNSにかじりつく。
久保寺典子 テンコ ……2年F組。ばっちりメイクの演劇部。
富田姫々^{きき} エム ……2年F組。元カレに未練がある。
高峰百恵^{たかみね} モモ ……3年B組。みんなの憧れの女の子。
赤間理央 リオ ……3年B組。アマチュア無線部。
清水泡姫^{ありえる} アリエル ……1年C組。サッカー部マネージャー。先輩の彼氏を奪った。
大吉燕太郎 エンタロー ……こゆびの幼馴染。恋愛体質。センスがものすごく悪い。
灰田 (クッパ) ……2年F組担任。

(店長)

神奈川県立横南高校。横浜市内の丘の上にある。
来年度より、県立浜北高校と統合し校地も移転するため、最後の1年である。
「雨上がりには好きだといって」シリーズは、時代を2013年に設定していま
すが、史実とは異なる箇所もあります。

「OPENING」

暑い日差しの照りつける真夏の午前中。
校舎の影が落ちいくらか涼しい風の通る校舎裏に、強烈な破裂音が響く。

こゆび このインラン女！

1人の女子生徒（アリエル）を女子生徒達（こゆび・スノウ・テンコ）が取り
囲む構図。こゆびがアリエルの頬を思い切り叩いた音のようだ。
その様子を発見した男子生徒（燕太郎）がいる。

燕太郎 現実世界で本当にこんなことがあるのかはわからない。

スノウ アリエルあんたさあ、1年のくせに調子のりすぎじゃない？

こゆび ジャスミンがどんだけ悲しい思いしてるかわかってんの？

燕太郎 少女漫画の中でならよく見る光景だ。ヒロインを取り囲むモブ。

こゆび 人の男盗ってんじゃねーよこのブス！

アリエル ブス……？

燕太郎 そうだ！ この後の展開はお決まり。颯爽とヒーローが現れてヒロイ
ンを助けてあげるのさ！

アリエル 私が？ 先輩より？ ブス？

こゆび この……！

こゆびが振り上げた手をぶつける前に、一人の男子生徒（リオ）が割って入る。

リオ その辺にしとけ！

こゆび 関係ない奴が邪魔すんなよ！

リオ いいから行けって。

アリエル ああ、私ヒロインじゃないんですけど。

燕太郎 ええ？ ちがうの？ じゃあ誰が……？

こゆび 私だよ……！！！！

陰っていく。

教室。だべっている女子生徒達。机の上には手つかずのプリントがある。

こゆび ったくさーなんでしゃしゃり出てくるかねえ。

スノウ 本当だよ、余計なことしやがって。

エム こゆびもよくやるよね、自分のことでもないのに。

こゆび 人のものを奪う神経が許せないの！

モモ こーら彼氏をものだなんて言わないの。

エム 大丈夫かなジャスミン。

テンコ なんか返事来た？

こゆび 既読つかない。

スノウ 引きこもってるな。

テンコ 家行ってみる？

こゆび 知ってんの？

テンコ 知らない。

スノウ 確か関内の方じゃなかった？

エム わかんない。

アラジンに聞いてみたら？

こゆび やーだーよー！ なんであいつなんかに！

モモ ほらみんなー。口ばつか動かしないで手も動かしてー。

いつの間にか先生が来ていて、持っていたバインダーでこゆびの頭をはたく。

こゆび いたっ。

灰田 口ばつか動かしないで手も動かしてー。

テンコ はい体罰ー！ はい教育委員会ー！

灰田 はいはいどーぞ。お前らの相手しなくなっただけですわ。

スノウ 先生が清々だって。

テンコ だからなんだし！

灰田 先生、私ジャスミンのお見舞いいかなきゃいけないの！

スノウ おーうそうかそしたら早く終わらせて帰らないとー。

私に約束を守ります。私を3時間だけ許してください。ジャスミンが私を待っているのです。そんなに信じられないなら、この富田を人質に置いていきます。

灰田 はいよく覚えてますね。でも今は太宰じゃなくて芥川だから。

こゆび 先生トイレ。

灰田 うん先生はトイレじゃありません。

スノウ 宣誓！ 絶対戻ってくるって誓います！

灰田 誓ってもダメです。

テニコ 宣誓、攻撃！
やめなさい！
灰田 先生星占いでもしませんか？
モモ さん？ ああ占星術な。わっかりずれえポケすんなよ。つてゆーか何一緒になつてふざけてんだよ。
灰田 はいみんな！ ちゃんと課題のプリントやりましょうねえー。
4人 はい。
モモ つたく、ちゃんとやらせてね。終わったら呼んで。
灰田 はい。
モモ

灰田、出て行く。

スノウ 自分だけ冷房の効いた職員室にいてずるくない？
エム 本当だよね。
こゆび つてゆーかモモ先輩はなんなんすか？ 内申あがるんすか？
モモ さあ？ 学年違うし。まあでも補習見てつて言われたんだけどね。
スノウ 出たよクッパ。
モモ クッパ？
スノウ すーぐ人のことさらつて連れてくんですよ。
テニコ そして課題をクリアしないと帰れまテン。
エム まじ時間泥棒。
モモ まあいいの。私もどうせ家で勉強してるだけだし。
こゆび あ既読ついた。
エム ジャスミン？
スノウ 生きてはいると。
テニコ 引きこもってるなー。
スノウ ショックでしょ。後輩に彼氏とられて。
モモ 失恋したことないからわからないや。
テニコ その辺どうなのエム。
スノウ え、なんでエム？
エム だつてこの中で彼氏したことあるのエムちゃんしかいないから。
スノウ えええ！？ エムお前彼氏したことあるの？
こゆび え、うん、
スノウ えーエムうそでしょ！ いつ？ いつ？
こゆび つてゆーかモモ先輩つきあつたことないんですか？
スノウ ありえない！
テニコ あんたらまじ失礼。
モモ で、どうなの？
エム えつと、うーん、まあ、一言で言えば、死にたくなるね。
3人 ウエーイ。
スノウ てか問題は部活でしょ。どうすんだろマネージャー。

テンコ
エム
こゆび
いや気まずすぎんでしょ！ いれないいれない！
てゆーか同じ場所にいたくないし。

テンコ
スノウ
エム
も！よく普通に練習できると思わない？ マネージャー休んでんのに。
神経図太すぎんだろ。

こゆび
死んじゃうわ。
死ぬなジャスミン！ 死ぬべきはあいつらだ！

こゆび
アラジンのバーカ！ 人でなし！ 死んじゃえ！

2階の教室からグラウンドに向かって叫ぶと、下からアリエルの声がする。

アリエル
スノウ
野次飛ばすのやめてもらっていいですか？

エム
アリエル
出たなアリエル！
まじキラキラネームすぎでしょ！

スノウ
テンコ
先輩たちの話し声下まで全部聞こえてますから！ 陰口最低ですね！
じゃあ面と向かって言えればいい？ 人魚が陸にあがってくんなし！

モモ
アリエル
海に帰れ！
悪口のレベルが低すぎる……！

こゆび
アリエル
お言葉ですが。
何よ。

こゆび
アリエル
人の彼氏とって何がいけないんですか？
はあ？

アリエル
別に泥棒したわけじゃないです。好きな人に振り向いてもらうために
努力をしただけです。その何が悪いんですか？

こゆび
アリエル
でも浮気はれっきとした犯罪だか
アラジン先輩二股じゃないですよ。ちゃんとジャスミン先輩振ってか

ら付き合いました。それに浮気で裁判になるのって結婚したらの話で
すよね？ 私たちに関係ありますか？ 好きな人に好きになってもらう
ために必死になっただけです。この短い高校時代に思いつきり青春し
たいだけで、私たち、何の悪いこともしてませんから。

こゆび
てめえ！

こゆび、勢い余って窓から身を乗り出す。周りの人はとっさに手を伸ばすが、
それで却ってバランスを崩し、こゆびは窓から落ちる。

世界がスローモーションで進んでいく。燕太郎、登場。

燕太郎

現実世界で本当にこんなことがあるのかはわからない。けれど少女漫
画の中でならよく見る光景だ。階段を踏み外したり何も無いところで
躓いたり滑ったりするヒロイン。

エム きゃー
テンコ こゆび！
モモ こゆびちゃん！
燕太郎 そうだ！ この後の展開はお決まり。颯爽とヒーローが現れてヒロインを助けてあげるんだ！

リオが走ってきて、こゆびを受け止めようと手を伸ばす。
そのまま倒れ込む2人。後から走ってくる燕太郎。

燕太郎 こゆびー！ 大丈夫か！？
スノウ こゆびー！
リオ いたたたた、なんとか間に合った。大丈夫……
燕太郎 あーっと！ これは少年漫画でよく見る光景！ヒロインの胸をおもいつきり触ってしまうラッキースケベ！ そしてこの後の展開はお決まり！ ヒロインが……。

言い切る前に、反射でリオの頬をはたいてしまうこゆび。陰っていく。
帰り道のコーヒーショップ。アイスコーヒーとケーキ。スノウとエムがいる。

スノウ あーもうマジでムカつく。何なんだよアリエルホントに。
エム 言ってることは間違っていないと思うんだけどね。
スノウ だからタチ悪いんだよ。なまじ正論だからまともに言い返せない。
エム 言われっぱなしだったね。
スノウ あーもう本当にムカつく！ 甘いもの食べる！
エム スノウ夏までに痩せるって言ってなかった？
スノウ もう夏になっちゃったから。ダイエットは夏までにするもので夏になつてからしても意味ないんだよ。夏になったら、痩せて見える着こなしをすんの。
エム なるほど。

スノウ、ケーキの写真を撮っている。

エム インスタグラム？
スノウ いや、ツイッター。
エム ふーん。
スノウ インスタのあのキラキラした感じ嫌い。
エム なーそうなんだ。
スノウ ツイッターにさ、こういうの上げて「デブ活〜」とか呟くとき、リップ飛んでくんのよ。「全然太ってないじゃ〜ん」「大丈夫だよー」とか。
エム 誰から。
スノウ 知らない人たち。おっさんとか。

エム
えーなにそれ。

スノウ

だって肯定されなきゃやってられないじゃん。

エム

まあ確かに真っ向から否定されたら辛いよねー。

スノウ

あ、こゆび軽い捻挫だって。

エム

病院終わったって？

スノウ

うん。テノコから。

エム

そっか、よかった大したことなくて。

スノウ

ほんとだよ。いやーびつくりした。まさか落ちるとは。

エム

落ちたねえ。

スノウ

いやてゆーかさ、あーゆうの受け止めるってありえない？ 実際

スノウ

問題どんな反射神経と身体能力してんだよって思わない？ 2階から

スノウ

落ちた人が地上に着くまで1.7秒だよ。

エム

スノウそれ突っ込んでじゃだめ。

スノウ

こゆびなあー。あいつも頑なだよなあ。

エム

こゆびちゃん是不倫とか浮気とか離婚とか経験したこともないし見た

スノウ

こともないからだからあんなに汚いこととか嫌がるんじゃないかな。

スノウ

まあなんだかんだ運命論者だからねえこゆびは。本物の相手なら何か

エム

しなくても自然とフィードバックで結ばれるって思ってるから。

スノウ

運命なんて本当にあるのかな？

スノウ

ないだろ。

こゆびの家。こゆび帰ってくる。誰もいない。

こゆび

ただいまー。

こゆび

……おかえり。

テーブルの上に置かれた封筒を取り、中の金額を確認する。

冷蔵庫の中をのぞき、扉を閉める。

階段を上がり、自分の部屋。カバンを放り出す。

こゆび

あっちいー……。

窓を開けても涼しい風はちっとも入ってこない。

窓の向こう、屋根伝いに燕太郎の部屋がある。

回想。中学生のこゆび。窓を出て、屋根を渡り、燕太郎の部屋にとびこむ。ク

ーラーをつけて寝転がっている。こゆびの家の一階から、喧嘩の声と食器の割

れる音が聞こえてくる。耳をふさぐこゆび。燕太郎が入ってくる。

燕太郎

なんでお前がここにくつろいでるんだよ。

こゆび

おかえり。

燕太郎 勝手にクーラーまでつけて。

こゆび だって私の部屋クーラーないんだもん。

燕太郎 俺だって健全な高校2年生なんだからな。

こゆび じゃあ窓鍵しめとけば？

燕太郎 いいの？

こゆび 嘘。ありがとう。

燕太郎 おう。

こゆび デートうまくいった？

燕太郎 振られた。

こゆび またあー？ どこ行ったの？

燕太郎 サイゼリヤ。

こゆび ああ。

燕太郎 だってイタリアンがいつて言うから。

こゆび それで？

燕太郎 ほら、ドリンクバーでオレンジジュースとメロンソーダのミックスするじゃん？ そしたらそういうことするの子供っぽいって言われて、

こゆび 喧嘩したの？

燕太郎 だってさ、サイゼなんて特にそういうことするの推奨してるみたいなのとこあるじゃん？ なんかワインとかお酒とか頼んで割る？ ってゆ

こゆび ーの？ カクテル？ まあそういうことするじゃん。だからそのど

こゆび こが子供っぽいのかわからなくない？ いやこれで例えばさ、俺がコ

こゆび ーラとコーヒーをミックスしてたりとかしたらまあそういうこと言う

こゆび のもわかるよ？ でも俺がミックスしたのメロンソーダとオレンジジ

こゆび ュースだよ？ 別にそれくらい許容範囲じゃない？ ってゆーかコー

こゆび ヒーとコーラのミックスもガストで推奨されてるからね。

こゆび で、フラれたと。

燕太郎 そのミックスしたジュースぶっかけられた。

こゆび ウハハ、どんまい。

燕太郎 心の狭い女だった。こんな些細なことさえ分かり合えないとは。

こゆび 運命の人だって言ってたくせに。

燕太郎 そう！ でもそのあとなんだよ！ 運命の人を見つけたんだ！

こゆび またあ？

燕太郎 今度こそ！ 今度こそは本当に運命の人なんだって。

こゆび はいはい。

燕太郎 大きいタオルとか出してきて、ミラノ風ドリアもピシャアってなっちゃってたのサービスで作り直してくれて。すごい優しくしてくれて。店員だからね。

燕太郎 横南高校の1年生でね、火・木・土で働いてるんだって。こゆびも今

こゆび 度一緒に行こうぜ！ 横南高校受験するなら色々聞いてみなよ！

燕太郎 行かない。

こゆび なんて。

燕太郎

スノウ ●はいはい！
テンコ ●どしたー？
エム ●はい。
こゆび ●やばい。
こゆび ●よく行くファミレスで今日ぶつかった先輩働いてた
スノウ ●全然気づかなかったwwwやばいwww
こゆび ●えードコー私も行くー。
エム ●いやいやいやもう店出たし。
スノウ ●運命じゃん。
こゆび ●スタンプ。
テンコ ●スタンプ。
モモ ☆今日こゆびのこと受け止めた先輩の情報教えてください！
☆情報？

モモ・テンコ ●☆赤間リオ3年B組。アマチュア無線部。文化祭実行委員長。成績は上の下。家族構成は姉と祖母と3人暮らし。好きなものは○○。嫌いなものは○○。彼女なし。
テンコ ●だって。
こゆび ●何その情報。
エム ●リサーチ早すぎるでしょwww
リオ ▼今日俺が受けとめた子のLINE知ってたら教えて。
モモ ▼はいどうぞ。
リオ ▼さんきゅ。
リオ □おい。

リオ、テーブルの上のこゆびの忘れ物を手に取り、

リオ □落とし物。
こゆび □あ！
こゆび □スタンプ！
スノウ ●てか名前やばくね？ 赤マリオwww
こゆび ●え待って待ってLINEきたんだけど！
エム ●えなにになにどゆこと！？
リオ □てかさあ、待ってるって言ったろ。
こゆび □はい。
リオ □なんで帰るんだよ。
こゆび □門限があつて。
リオ □ダウト。門限なんかあるかよ。飯も作らない親が。
テンコ ☆モモちゃん先輩なんでそんな赤間先輩の事色々知ってるんですか？
モモ ☆そう？ 普通じゃない？

テニコ

☆スタンプ。

モモ

☆スタンプ。

リオ

□ごめん。余計な口出しして。

こゆび

◎ジャスミン大丈夫？ 生きてる？ つらいだろうけどさ、一人で抱え込んででも仕方ないからさ、話聞かし。遊びに行こう。返事待ってるよ。

リオ

□あと昼間もごめん。ちゃんと助けられなくて。

リオ

□あと……触ったのもごめん。

返事をしないまま、ベッドに横たわるこゆび。陰っていく。

「2」 8月14日

補習2日目。雨。テンコのプリントをモモが採点している。

モモ ……ハイ正解。

テンコ よっしゃあー！

モモ 全然フツーにできるじゃない。

テンコ 数学はできるんですよ。答えがはつきりしてるから。方程式がわかつち

モモ やえばあとはトントントンです。

テンコ 典型的な理系の言い分ね。さあ現文。

モモ うわあー。ほんとムリ。読み解きとか意味わからないもん。

テンコ 想像力よ、想像力。

モモ 想像力？

テンコ この人は何を思っているのかなーって考えることよ。

モモ 全然意味ぶーです。

テンコ そうだなあ、例えば…:

モモ のりちゃんさ、好きな人でもいるの？

テンコ えっ！？ なんですか急に！？

モモ そんな顔してたから。

テンコ え、嘘！

モモ 嘘。

テンコ え？ え？

モモ 別に顔には出てなかったよ。やーんでもその反応はいるんだ？

テンコ ずるい！ ひどい！

モモ そんな気持ちを歌ったのがこの短歌。

と言いながら黒板に書いている。

モモ 「しのぶれど色に出にけりわが恋はものや思ふと人の問ふまで」

誰にも知られないように心に秘めていたのに、とうとう顔色に出してしまつたわ。なにか物思いをしているのですかと、人がたずねるほどに。

テンコ はあ。

モモ 同じ人間だから、きつとどこかに同じことを感じられる心があると私は思うの。それが想像力かなって。

テンコ モモちゃん先輩、字きれいですよね。

モモ えーそおう？

テンコ きれいです。すごくきれい。

モモ いえーい。

テンコ あるんですかね。同じように感じられる心。

モモ 探せばきっと見つかるよ。
テニコ そうかなあ。

こゆび、スノウ、エムがトイレから戻ってくる。

スノウ ねー聞いてよテニコ！ スズのやつ今フランス行ってんだって！

テニコ えーうそ！ まじで！

モモ いいなーフランス。私もいきたい。

こゆび しかも、

3人 彼氏と〜。

テニコ いぎやああああああ！ 爆発しろ！ テロにあってしまえ！ もしく

エム は飛行機落ちろ！

モモ ピサの斜塔傾いて倒れて下敷きになってしまえ！

スノウ ピサの斜塔はイタリアだよー。

テニコ うーわシューブリーズ忘れた。

スノウ あ使う？

モモ あさんきゅ。

モモ はーいみんな勉強しようねー。

同時に灰田が顔を覗かせている。机に向かうふりをする一同。灰田が消える。以降、灰田の気配を察知する度に同じ行動をする。

こゆび てゆうかよく親オツケーしたよな？ 彼氏と2人で海外旅行とか。

エム まじありえないっしょ。

テニコ てゆーか待って。スズの彼氏ってあれでしょ。野獣でしょ。

モモ はーいみんな勉強しようねー。

スノウ あーシトラスかー。

こゆび えスノウ柑橘系ダメなの？

スノウ 名前が嫌い。

こゆび 名前って？

スノウ シトラスって無駄に洒落てるじゃん。

こゆび 意味がわからん。

モモ はーいみんな勉強しようねー。

モモ 野獣って？

エム そうなんですもう見た目まんま野獣みたいな。

テニコ てゆーか借りてる分際でわがまま言うな。

エム 8×4せっけんならあるよ。

スノウ ぼいわー！

こゆび エム超せっけんって感じだわー。

エム
てかき、8×4のネーミングまじおもしろくて、「ジューシーシトラス」とか「アクアティックマリン」「フレッシユフローラル」「フェミニンフレグランス」とかなんだけど、「せっけん」だけ「せっけん」なの。なにそれウケる！

スノウ
へーちゃんと見たことなかった。せっけんも英語にしてやれよ！

モモ
「ソープ」の香り？

テンコ
それはあれじゃないですか？

エム
あれってなに？

テンコ
なんでもないよ。

こゆび
てか私スズの彼氏の魅力全然わかんない。

スノウ
私もわかんない。

エム
私も。

テンコ
右に同じ。

モモ
ひどい言われよう。

エム
だってはつきり言ってブサイクだよね！

スノウ
まー控えめに言ってる上。

こゆび
なんで付き合ってるんだろ？

モモ
性格がすごいいいとかじゃなくて？

スノウ
いやそれはない。

エム
すごい自己中だし怒りっぽいし。

モモ
はーいみんな勉強しようねー。

テンコ
財力。

3人
それだ。

モモ
財力？

エム
おぼっちゃまなんです。

モモ
なるほど。

スノウ
世の中ね、顔かお金かなのよ。

エム
なにそれ。

スノウ
回文。

テンコ
ひでえ回文。

こゆび
私スズのことマジで応援できない。

スノウ
まーどうせある程度貢がせてほしいでしょ。

エム
それな。

モモ
そういう子いるんだねえ。漫画の中だけかと思ってはーいみんな勉強しようねー。

けれど覗いていたのは灰田じゃなくてリオだった。ひまわりを持っている。

モモ
あ、リオ。

リオ なにまた今日も先生してんの？
モモ まあねー。

エム 先生してる？

スノウ いや。

リオ かわいそうに。一度しかない17の夏が。

4人 ぐは。

モモ それどうしたの？

リオ え？ ああ。昨日落ちたたる？ そんな時1本折れちゃってて。置いてとき

や持ち直すかなと思っただけダメだったから。

モモ あらら。

リオ お、懐かしい。「ある日の暮方のことである。一人の下人が、羅生門の

下で雨やみを待っていた。」

モモ リオも先生する？

リオ えーなんで。

モモ まあいいじゃん。

リオ はいはい、まあ考えとくね。

こゆび 先輩すいませんでした昨日は。

リオ ん？

こゆび、手を差し出す。リオ、手に持ってたひまわりを渡す。

こゆび ちょっと！

リオ なに？

こゆび いや違くて！ 忘れ物は？

リオ ああ。そんなの自分で取りに来いよ。

リオ、出て行く。

スノウ なにあれ。変な人。

エム 食らったね。一度しかない17の夏。

スノウ まだ終わってないから！遊ぼう！

エム いいね。海とかプールとか行きたーい。

スノウ それは嫌。水着無理。

エム えーじゃあどこ。

スノウ 富士急！

こゆび ごめんパス。

スノウ えーなんで！

こゆび 絶叫嫌い。

モモ あ私もー。

エム
えー超たのしいのにー。
落ちるの怖いよねえ。

こゆび
無理！

エム
じゃあデイズニーは。

テンコ
あごめん私基本屋外パス。

エム・スノウ
なんで!?

テンコ
焼けるじゃん！

スノウ
日焼け止め塗れし！

テンコ
いやそういう問題じゃないんだよ。

こゆび
結局これ。

エム
何にもできない。

テンコ
あーなんかちよつとわかったかも。

スノウ
なにが？

テンコ
「作者はさつき、『下人が雨やみを待っていた』と書いた。しかし、下人は雨がやんでも、格別どうしようと云う当てはない。『下人が雨やみを待っていた』と云うよりも『雨にふりこめられた下人が、行き所がなく、途方にくれていた』と云う方が、適当である。」

エム
んー？

テンコ
なんか超うちらつばいと思って。

エム
そう？

モモ
まあなにをどう感じるかなんて人それぞれだよな。

こゆび・スノウ・エム
んー。んー。

こゆび
ねえテンコ。

テンコ
何。

こゆび
化粧ってどうやってすんの？

帰り道のファーストフード。番号札とコーヒー。スノウとエムがいる。

スノウ
まじありえない。こゆびも化粧とか言い出した。

エム
そうだねえ。

スノウ
私さあ思うんだけど、なんで女って化粧必須なのかなって。

エム
そうだよねえ。

スノウ
だってさ、高校生までは基本化粧禁止じゃん？ なのに大人になったら化粧できてないと常識知らずって言われるわけじゃん？ 意味わかんくない？ いつ化粧習得するのって感じじゃない？

エム
授業でやれって感じだよな。

スノウ
本当。そういうこと学校で教えろよって思うわー。

エム
ニガ。

スノウ
砂糖いれればいいじゃん。

エム ううんいいの。
スノウ エムなんていつつもコーヒーなの。
エム 飲めるようになりたいから。
スノウ ふーん。

スノウ、ポテトをつまむ。ポテトについたケチャップがたれる。

エム あーーーーーケチャップ！
スノウ あーーーーー最悪落ちた。
エム 拭いて拭いて。

エム、ハンカチを差し出す。

スノウ うわー最悪だよこれ落ちないよー。
エム いやー目立つねこれ。
スノウ どうしよこれから出かけるのに。
エム 買いに行くー？
スノウ いやいい。
エム いいの？
スノウ 別にいい。てかコレダサくない？
エム ダサいよねー。
スノウ なんでもってるの。
エム もらったから。
スノウ 元彼？
エム ううん違う。あのねー振られて泣いてた時に知らない男の子がくれた。
スノウ なにそれ。
エム 俺にはもう必要ないから。とか言つて。でもその人もめっちゃボロボロに泣いてて、いや全然必要でしょって感じだったんだけど。
スノウ ウケるわ。
エム でもまあこのハンカチのおかげで助かった部分あるからさ。なんか捨てられないんだよね。ずっと。

こゆび、ファミレスに入る。メニューを眺め、店員呼び出しボタンを押す。
店員が来る。注文をし、思いふける。
回想。燕太郎が来る。

燕太郎 はースッキリした。
こゆび かき氷3つも食うからだよ。ばーか。
燕太郎 だってどれももうまそうだったんだもん。
こゆび だからって全部頼むやつがあるか。
燕太郎 いやだから最初に、こう、3分の1ずつ味分けられないですか？ って

きいたじゃん。
できるかつーの。

燕太郎 お祭りとかであるじゃん。

こゆび ここはファミレスで縁日じゃないの。

燕太郎 それよりどうだった？ 昨日の舞台。

こゆび ヘタクソ。

燕太郎 ノー！

こゆび ほんつとあんただけ一人セリフ棒読みだし動きも合っていないし、ホントこの世のセンスというセンスを置き忘れて生まれてきたんだね。

燕太郎 そんなこと言うなよう。

こゆび まあ、あんた以外はおもしろかったよ。

燕太郎 だろ？ だからこゆびも一緒にやろうぜ。

こゆび やー私はなあ……とりあえず受験生だし。

燕太郎 大丈夫だって！ あん中にも中3何人か出てたし。高校入ってからでもないからさ。絶対楽しいって！

こゆび まあエンタローには向いてないと思うけどね。ああでも、そういうえば1人頑張ってる子いたね。

燕太郎 誰々？ 何役？

こゆび ほら、村娘の。まあ村娘がそんな出しやばんなよとは思ったけど。

燕太郎 いやそうなんだよあの子すごい頑張ってたさあ。稽古中もそうなんだけど本番前もみんなにメイクとかしてて。あ俺もしてもらったんだ。

こゆび そうなんだ。

燕太郎 そう、だから今度なんかお礼しなきゃなーって思ってた。

こゆび 運命の人？

燕太郎 いや全然そんなじゃないよ。

こゆび 最近、運命の人とか言わなくなったね。

燕太郎 そう？

こゆび 自覚ないの？

燕太郎 うーん。

こゆび まあとにかくプレゼント癖は相変わらずだけど。しかもセンスない。

燕太郎 えーそうか？

こゆび あのね！女の子は〇〇も〇〇もトランシーバーもいらはないの！

燕太郎 あたたたたたた。

こゆび どうしたの。

燕太郎 また来た。ちょっと、行ってくる。

燕太郎、またトイレに駆け込んでいく。意識が現在に戻ってくる。

リオが料理の皿を2つ持ってくる。ファミレスの制服ではなくなっている。

リオ あれ、なんかさつきと違うくない？

こゆび
なんでもないです。
あそう。

リオ、注文をテーブルに置いて、向かいの席に座る。

こゆび
あれ？
少し早上がりさせてもらった。暇だし。
はあ。
はいこれ。
ありがとうございます。
それダサくない？
え？
いやごめん。俺思ったことすぐ口に出しちゃうんだよね。
いや、ダサいなあと思います。
あそうなの？
センスないですよ。なんでこれ選ぶのかわからないですよ。ついでうかどこで売ってんだよって感じじゃないですか？
もらいもんか。
はい。

こゆび
昨日はすいませんでした。
あ？
叩いて……助けてくれたのに。
ああ、別にいいよ。そんなことよりさ、なんで一人で飯食ってんの？
なんでそんなこと聞くんですか？
なんで？　なんでって……なんでだろう。
なんですか。
あー。俺と同じだからかな。

こゆび
お母さんは中3の時に出て行った。お父さんはあまり帰ってこない。外に若い女がいるっぽい。娘とどう接していいかわからないんだよ。いつもテーブルにお金が置いてある。私はそれで十分。

リオ
ふーん。そっか。
聞いていてそれ？
リオ
え、何か言ってるの？
こゆび
あ、いや……。

自分の皿の野菜をこゆびの皿に放る。

リオ
とりあえず。野菜も食え。あと……一人で飯なんか食うな。

携帯画面の向こうにみんなが現れる。

- スノウ ●集ー合ー！
- テンコ ●はいはい！
- エム ●どしたー？
- こゆび ●はーい。
- スノウ ●いまフオロワーのおっさんとあつてきたんだけど
- エム ●まじか笑
- テンコ ●えーどー行つたの？
- スノウ ●ドトール
- こゆび ●~~~~~
- エム ●えどんな人？デブ？
- スノウ ●デブではない。
- スノウ ●ハゲ~~~~~
- こゆび ●~~~~~
- エム ●くっそ
- テンコ ●ワロタ
- エム ●出たよスノウのおっさん自慢。
- テンコ ●ね。てゆーか自慢のレベル低っ。
- エム ●くっそ
- テンコ ●ワロタ
- スノウ ●なんか武勇伝聞かされた
- スノウ ●なんか阪大出身とか
- スノウ ●なんか勉強しなくても入れた〜とか言つて
- エム ●ほへ
- こゆび ●クソかよ
- テンコ ●つか阪大つてどこ？
- エム ●それな
- こゆび ●ハイハイハイハイハイ。
- エム ●クソリプ画像。
- テンコ ●やば~~~~~グッジョブ~~~~~
- エム ●スタンプ
- スノウ ●関西の方だって
- スノウ ●関西の方では結構頭いい
- スノウ ●らしい
- エム ●へ~~~~~
- スノウ ●つうかそんな高学歴が女子高生に群がるなよな〜
- テンコ ●学歴自慢乙笑
- こゆび ●過去にすぎらないと生きていけないでしょ。
- テンコ ●過去の栄光

テニコ ●確かに同級生男子と年下男子にそれをしてもらうことは難しい。
スノウ ●だから恋愛対象が年上になるんだろ？なあ、と。

エム ○はい自尊心自尊心。
テニコ ○自尊心シンシンシンシン。

こゆび ●スタンプ。

スノウ ●え、そんなスタンプあるの！？

テニコ ●いや、ないでしょ。

エム ●舞台上のお遊びでしょ。

スノウ ●探せばあるかもよ？

テニコ ●あったとしてもいらねー。

エム ●使いだころないじゃん

スノウ ●うわまんまじゃん。

テニコ ●なにが？

スノウ ●スタンプ名が、使いだころのないスタンプ。

こゆび ●スタンプ。スタンプ。スタンプ。

スノウ ●なんで買ったwww

こゆび ●いやもらった。

テニコ ●誰に。

こゆび ●でもさ、

エム ●うん。

こゆび ●なんで女子の方が自尊心低いんだろ？

テニコ ●完全に教育でしょ。

こゆびの携帯が震える。LINE通話が来ている。戸惑うこゆび。

エム ●自分の意思が尊重されない経験が多いからでしょ？

テニコ ●わかる！男子に比べて女子の方が色々厳しいんだよね！

スノウ ●超それ。お兄ちゃん門限とかなかったのに私あるもん。

エム ●自分を制限されるから主体性なくすし、ダメダメ言われるから自分はダメなんだなあって思うし。

スノウ ●だからこそ認めてほしいって欲求ね。

こゆび □は、はいっ……？

ぎこちないやり取りから少しずつ会話が流れ始め、やがて楽しい空気になる。

テニコ ●でも私は、自尊心を他者に委ねるんじゃなくてちゃんと自分で自分に自信を持つようになった方がいいと思う。

エム ●どういうこと？

スノウ △やースルーしてよかったでしょ？

エム △あやっぱ？

テニコ ●私中学の時どうしてもやりたい役があって、でもその役が可愛くな

いとダメで、フツーに一番かわいい子がやる流れで。でも私の方が絶対うまい自信あって。

●結局顔かー。

△私の方が絶対うまいとか、その自信どっからくるの？

△ワカンネ。

●そんな時必死でメイク学んでさ。顔が可愛ければいいんでしょって。もちろん顔だけじゃなくて、身体のケアとか、中から美しくとか、姿勢とか、しぐさとか、そういうのもめっちゃ研究して、練習して。

●それで勝ち取ったんですねー。

●いやダメ。キヤステイング決まった後だったし。

△はい結局顔。

△世の中ね、顔がお金かなのよ。

△ウエーイ。

△ウエーイ。

△ホント自分頑張ってますアピール。

△意識高い系？

△いやだと思ったら中途半端すぎでしょ。

△努力自慢ないわ。

●努力が必ずしも報われるとは限らないけど、でもそれでみんなにメイクしてあげたらすごい褒められて。男子からの目も少し変わった気がして。だから……なんていうんだろ。ダメでも努力が無駄になるわけじゃなくて、それで得られる副産物はたくさんあるし、それが全部自尊心になってくれると、私は思ってる。

リオ

□今の話聞いてて思ったこと言っている？　なんか、憧れてゆーか、理想みたいな、願望あったんじゃない？　って、思った。いやだからさ、アラジンとジャスミン？　がベストカップルみたいな感じだったわけじゃん。お前にとつて。だからその2人がずっと一緒にいることが、お前のいう、なに、永遠？　とか運命とかそういうのを信じさせてくれるのかなっていうかさ。だからこう、その2人が別れちゃったのが、めっちゃめっちゃショックだったわけじゃん？　って。でもっというとき、なんか、こう、ジャスミンに対して羨ましいって思ってるんじゃない。いや別れちゃったのはショックだけど、ショックでしょ。で本人もそれすごい引きこもってるわけだし？　でそれって引きこもってるくらい悲しんでるってことで、つまり、それくらい恋してたってことじゃん。でだからさ、なんていうの、それくらい本気で人を好きになったっていうのがさ、羨ましいんじゃないの？　小雪は。

陰っていく。

補習3日目。みんなが黙祷している。

灰田 黙祷。

5秒くらいで。

灰田 1分経ったことにして、終了。

こゆび 正直さ、あんまピンとこないよね。

スノウ 正直ね。わからないよね。

灰田 はいプリント回収。今日これで終わり。

テンコ あーやったー終わったー。

モモ 今日は早かったね。

リオ や、てゆーかあれだけのプリントに時間かけすぎでしょ。

モモ リオ先生のお陰で助かった。

リオ 高額お前教育学部志望じゃなかった？ そんなんで先生なれんの？

モモ なるでしょ。ほどよくほどよく。

みんなが灰田にプリントを提出し、こゆびが渡そうとした時、強い風が吹く。

燕太郎 その時！ 突然強い風が吹いて！

こゆび あ！

こゆびのプリントが飛ばされて窓の外へ。

燕太郎 あーっと、これまた少女漫画でよくある展開！ 突然強い風が吹いて

ばされるプリント！ 窓の外から吹き込んできたはずなのになぜか窓

の外へ飛んでいくプリント！ どう考えてもおかしいだろ！ そして

この後の展開はお決まり！ 飛んできた先に都合よく誰かがいるの

さ！

飛んでいくプリント。教室を出て行くこゆび。

灰田 職員室に持ってこいよー。じゃ解散ー。また明日。

灰田出て行く。

スノウ はートイレ行って帰ろ。

テンコ そうだ。今日その神社でお祭りあるみたいだよ？

エム お祭り！
モモ いいね。行きたい！
スノウ みんなで行こう。
モモ リオは？ 帰るの？
リオ いや、バイトまで部室で機材いじつてくけど。

スノウ、エム、テンコはトイレに行ってしまう。

モモ 今日もバイト？ 働きすぎじゃない？ どれくらい入ってるの？
リオ え？ 週5？

みんな、「え？」という顔で覗く。

リオ いや、集合じゃない。

みんな消える。

モモ 働くねー。
リオ 結構金かかんだよな。
モモ 無線？ よくやるね。面白いの？
リオ 面白いよ。
モモ ふーん。

リオ、電話をかける。

リオ あ、もしもし。お疲れ様です赤間です。あの、今日なんですけど、会社休むかもしれないんですけど大丈夫ですか？ あ、はいお願いします。
リオ はい、はい。あ、助かります。ほんとすいません。えつ、あつ、はい。そうです。いやまだわからないんですけど。これから誘うんで。はいはい、わかったらまた連絡します。すみません。はい、お疲れ様です。

会社休むかもってどういうこと？

モモ え、ああ……いやなんか、うちのバイト特殊な制度があつてさ、ここぞという時にだけさ、休んでいいってことになってんだよ。
モモ えーなにそれ。
リオ いやなんかさ、

店長 いいかい諸君。君たちはこの店のアルバイトとして店舗の売上、清潔、お客様満足のために尽くさねばならない。しかし！ 君たちはあくまでアルバイト。正社員ではない。それに君らはまだ若い青春真っただ中。

そんな貴重な時間を1時間920円で切り売りするのも意義のないこととは言わない。けれど！ そんな青春を何事もなく通り過ぎてきてしまった一社会人として訴えたい。ボーイズビーアンビジャス。大いに青春するんだ。これは俺の大尊敬する黒足のコックが言っていた。「恋はいつもハリケーン」恋はいつも突然やってくるもんだ。そして激しく心をかき乱したのちあつという間に過ぎ去ってしまう。だから！ 過ぎ去ってしまう前に掴まなけりやいけないんだ！ 例えば君が放課後学校帰り、少し気になってくるクラスメイトから「ねえ、今日よかつたら駅前に新しくできたアイスクリーム屋さんに寄ってかない？」と声をかけられたとする。しかし君はこれからバイトのシフトが待っている！ アイスクリーム屋さんに寄っている時間などはない！ しかしだ！ だからといって断ってしまったら君は彼女が勇気を出して誘ってくれたそのせつかくの気持ちを無碍にすることになる。一緒にアイスクリーム屋さんに行つてあま〜いアイスと一緒に食べてあま〜い空気になったところであま〜いセリフのひとつでも吐けばそこから何が始まるかもしれないのに！ 君はバイトがあるからという理由でそのチャンス逃してしまうのだ！ ここで私は聞きたい。仕事と恋と、どっちが大事なの？ そんなの！ 恋に決まっているだろう！ いや！ この年になるともう即答で恋なんて言えなくなってしまうんだ！ そしてあああの日あの場所君に会えなかったから僕はいつまでも寂しい一人のままなんだと後悔する日々を送ることになるんだ。だから僕はバイトのせいで恋が実らなかつたなんて後悔してほしくない。タイミングを逃すな。チャンスはつかみ取れ。もしなにかあったら電話してこい。そしてこういふんだ。「今日は会社休みます。」それだけですべてを察することができる。バイトが一人欠勤するくらい大したことない俺を誰だと思っているんだ？ 店長だぜ。俺はお前らバイト全員の幸せを心から願っている。青春万歳！ 君たちの恋愛に幸あれ！！！

というわけ。

なにそれ。面白いね。いいなあ、私働いてたところそんなのなかったよ。いや普通ないだろ。

私も使ってみたーい。「今日は会社休みます」。

お前は無理だろ。

えーなんでよ。

不自由してなさすぎ。

そんなことないんだけどなあ。でも卒業するまでに1回くらいは告白されたいよね。

そうなの？

そうだよー。だつてさ、告白自体はどこでもできるけど、この教室で告白できるのは高校生の今だけなんだよ。

リオ
モモ
リオ
モモ
モモ
リオ
モモ
モモ
リオ
モモ
モモ

リオ 確かに。
モモ あ、でも一回だけあるよ。お客さんに運命の人って言われたこと。
リオ サイゼで？ 運命の人とかイタリア人かよ。
モモ びっくりしちゃった。
リオ そもそもお前ファミレスでバイトする必要すらないだろ。
モモ 社会勉強社会勉強。
リオ はいはい。

スノウ、エム、テンコがもどってくる。

テンコ さ！ 帰ろ！ 私浴衣着る！
モモ えーじゃあ私も浴衣着よつかな！
エム いいなあ浴衣。私持っていない。
スノウ まあ一緒にどっかで待ってよ。
エム こゆび待ってよつか。
モモ あーこゆびちゃんはいいんじゃない？
エム えなんで？
スノウ はい帰ろう帰ろうーう！

などと言いながら出て行く。モモ、残されるリオにウィンク。
外。こゆび、プリントを探している。アリエルがプリントを持っている。
見合う2人。アリエル、プリントを差し出す。受け取るこゆび。

こゆび ……。(放せよ)
アリエル ……。(放すかよ)
こゆび ……ありがとう。

アリエル 唇。
こゆび は？
アリエル 荒れてませんか？ 栄養バランス悪いんじゃないですか？ 唇なめる癖あるならやめた方がいいと思いますよ。(他にも辛辣な指摘をする)
こゆび 可愛くない！ 努力が足りない！
アリエル ……。

こゆび はつきり言つてムカつくんです。何もしないで指くわえてただ待ってるだけってシンデレラじゃないですか。私シンデレラとかオーロラ姫とか大嫌い。いつか魔法使いが現れて魔法をかけてくれるとも思ってるんですか？ 王子様がイバラをかき分けて迎えに来てくれるとも思ってるんですか？
アリエル あんたなんでアラジンなんかと付き合ってるの？
こゆび なんかとか言わないでください。
アリエル だって彼女振って乗り換えるような男だよ。

アリエル　そのなにがいけないんですか？
こゆび　は？

アリエル　先輩は、味のしなくなったガムをいつまでも噛み続けるんですか？

アリエル、行ってしまふ。立ち尽くすこゆび。リオが来る。

リオ　あつた？ プリント。

こゆび　ありました。

リオ　職員室まで持ってこいって。

こゆび　わかりました。ありがとうございます。

リオ　お前は今日暇なの？

こゆび　え？

リオ　いや、暇なら行くか？と思つて。祭り。ああ、その神社で今日あるらしいから。

こゆび　ごめんなさい。今日は用事があつて。

リオ　そうか。

帰り道のファミレス。ドリンクバーの前。スノウとエムがいる。

スノウ　どー見てもあの2人コレじゃん。

エム　ええ？ そうだったんだ！？

スノウ　一番こゆびかぁー。

エム　いやー一番私だから。

スノウ　あーそうね。え、てかなにそれ。

エム　え？ メロンソーダとカルピスミックスしただけだよ？

スノウ　うーわ。

エム　えーダメー？

スノウ　いや百歩譲つて今は別にいいけど。いやーいつだっけな。デート中に相手の男がミックスしてて。

エム　おっさん？

スノウ　高校生。

エム　あてかその前にまずね、何食べたい？　って聞かれたからイタリアンつて言ったの。そしたら連れてかれたのがサイゼで。

スノウ　あーまあイタリアンだね。

エム　でそこでドリンクバーミックスしてて、いやないわーつて。

スノウ　ふーん。

エム　エムはどうなの。最近。

スノウ　私はもう恋なんてしない。

スノウ　なんて言わないよ。

2人

絶対。

スノウ

そうなの？

エム

ぶっちゃけさ、いつでも探しちゃうんだよね。

スノウ

元彼？

エム

うん。向かいのホームとか、

スノウ

路地裏の窓とか？

エム

そんなとこにいるわけもないのにさ。

スノウ

震えるね。

エム

ほんとそれ。まじ会いたくて会いたくて。

スノウ

未練タラタラじゃん。

エム

正直、心だけ立ち止まったまま。

スノウ

そっかー。

エム

夜中にいきなりさあ、いつあいてるのってLINEしてみようかな。

スノウ

人を傷つけてまた泣かせても何も感じられないクズになってるんじゃない？

エム

ない？

エム

あの日の悲しみさえあの日の苦しみをそのすべてを愛してた。

スノウ

あなたとともに。

エム

Love is over. 悲しいけれど終わりにしよう。

スノウ

きりがいいからね。

エム

そうそう。

エム

グッバイ。君の運命の人は私じゃない。

スノウ

辛いけど否めない。

エム

でも離れたいのさ。

スノウ

いや離れる。

エム

でもさ、片思いも辛いじゃん。

スノウ

好きになつてくれる人だけ好きになれたらいいのに。

エム

ほんと。この先私のこと好きになつてくれる人いるのかなーって思う。

スノウ

うーん。

エム

でもだからやっぱさ、こんな私でも好きになつてくれて、ありがと

スノウ

って思ってる。

エム

そーかー。

スノウ

だから、いつか誰かとまた恋に落ちても、

エム

I'll remember to love. You taught me how.

スノウ

そうね。人混みに流されて変わってくあんたを遠くで叱ってくれるよ。

エム

なんかさ、思うんだよね。

スノウ

何が？

エム

うちら世代の恋つてさ、全然オリジナリテイないよねつて。なんか誰

スノウ

かの恋をなぞってる感じ。ドラマとか漫画とか J-POPとか。

スノウ

ほんとそれ！

2人

乙！

こゆびの家。こゆび帰ってくる。誰もいない。

こゆび
ただいまー。

こゆび
……おかえり。

冷蔵庫の中をのぞき、扉を閉める。ひまわりの花瓶を手取る。
自分の部屋。花瓶を置き、鞆を放り出して寝転ぶ。

こゆび
あつちいー……。

目を閉じる。蝉の音。燕太郎が現れる。こゆびの鼻をつまむ。

こゆび
苦しい！

燕太郎
お、生きてた。

こゆび
！？

燕太郎
ひさしぶり。

燕太郎
あれ？ おーい。

こゆび
……ごめん、ちよつとびっくりしただけ。どうしたの？
どうしたのって？

燕太郎
なんているの？

こゆび
なんでって。帰省しちやダメなのかよ。

燕太郎
いや、ああ、そつか。え今日帰ってきたの？

こゆび
いや一昨日からいるよ。

燕太郎
なんで言ってくんないの？

こゆび
ごめん。

燕太郎
いつ帰るの？

こゆび
明日。

燕太郎
なんでよもう！ バカ！

こゆび
ごめんって！

燕太郎
それにしてもこの部屋暑いな。

こゆび
夏だからね。そっちは暑くないの？

燕太郎
全然。

こゆび
そうなの？ いいなあ。

燕太郎
さ！ 出かけるから支度しろ。

こゆび
え、どこ行くの。

燕太郎
祭りだよ。

祭囃子の中。スノウ、エム、テンコ、モモが歩いている。
縁日の屋台の通り、金魚すくいを見つける。アリエルがいる。

モモ わあ、金魚すくい。

テンコ モモちゃん先輩、金魚すくい好きなんですか？

モモ 見る専門。見てるの好き。

エム わかります。かわいいですよ。

モモ いいなあ〜金魚とか飼ってみたいなあ〜。

アリエル あ。

スノウ あ。

テンコ あ〜出た！

アリエル ホントあからさまに嫌な顔しますよね。これだけわかりやすく嫌われ
てると逆に清々しいですわ。

エム なにしてるの？

アリエル 見てわかりませんか？

テンコ ホント喧嘩売ってるよね。

エム むかつく〜。

アリエル いいえ喧嘩じゃなくて金魚を売ってます。

スノウ 人魚が金魚売ってる。

アリエル それで？ やってくんですか？ ひやかしならお断りなんでさつさと

スノウ どっかいつてもらつていいですか？

私やる。

エム でもこういうのつてすぐ死んじゃうんじゃない？

テンコ そうでもないよ。ちゃんと飼育すれば長生きするよ。

エム じゃあ私もやってみようかな！

2人、ポイを受け取る。テンコ、素早くそれを奪い、

テンコ 待った。ふざけてんの？ これ7号じゃん。

モモ どうしたの？

紙がうっすいんです。これ使ったら即破れます。お客さんに合わせて厚

さの違うポイを渡すんです。

スノウ ほう……。

エム そういうことするんだ？

アリエル はいはい。わかりました。

厚いポイと交換する。チャレンジする2人。

エム ああ〜ダメだった。

モモ エムちゃん早い〜。

テンコ どうしたのスノウ？
スノウ なんか、あの大きい金魚、モモ先輩みたいだなって。
モモ えっ。

スノウ 大きいからよく目立つけど、誰も狙おうとしないの。自分じゃ獲れない
ってわかってるから。みんなこの辺の自分でも獲れそうなのを狙う。
モモ えーそうなの？ そうかなあ……。

エム あーなんとなくわかる気がします。

アリエル 女の子も、すくって欲しかったらすくわれる努力をしなくちゃいけない
んですよ。端の方に来るとか、水面近く泳ぐとか、一人でじっとして
るとか。私狙い目だよーすくいやすいよーってしてあげないと、誰もす
くってくれないんですよ。（言いながらすくってみせる）

モモ 耳が痛いわね。

アリエル あのへんの金魚、小雪先輩ですよ。真ん中深いところで密集してる。

テンコ そうだね。確かに女の子もすくわれる努力はするべきだけど、でも、男
の子だって、本当に手に入れたかったら、手に入れるための努力をすれ
ばいいだけ。

モモ のりちゃん。

テンコ 一枚ちょうだい。

テンコ、ポイを受け取り、一番大きな金魚をあつさりすくってみせる。

スノウ・エム・モモ エー！

エム すごーい！

モモ のりちゃんなんで？ どうやったの？

テンコ 小さい頃からじいちゃんに仕込まれてたんで。

モモ すごいね。1回でひゅっって。

エム 魔法かよ。

モモ かっこよかったよ。

歩いていくこゆびと燕太郎。

燕太郎 でたじゃんけん水あめ。勝つと2個もらえるやつ。

こゆび エンタローほんと強かったよね。毎年勝ってたよね。

燕太郎 1つずつ食べたよな。

こゆび あ、ほらあるよ、シロップかけ放題のかき氷。覚えてる？ ファミレス
で3分割できないかって聞いたの。

燕太郎 ああ、3つ食って腹こわしたわ。

こゆび ほんとバカだよな。

燕太郎 いやーそれにしてもこの感じ、懐かしいな。

こゆび それほんと毎年言ってるよね。

燕太郎 そうか？

こゆび 毎年言ってるよ。
燕太郎 まあでも、こうやって毎年変わらないものがあるとき、なんか安心するよな。

こゆび 確か今年で最後だよ。

燕太郎 え、そうなのか？

こゆび うん。うるさいって苦情だつてさ。

燕太郎 苦情かあ。

こゆび ほんと、どんどん狭くなってる。

燕太郎 生きづらいねえ。

こゆび 息苦しいよ。

燕太郎 そつかあ、なくなるのかあ。

こゆび 学校もなくなるし。なんか、もう、どんどん、なくなつてく。

燕太郎 なくなつてくよ。

こゆび なくなつてくよ。

燕太郎 ちゃんと、記憶にとどめておかなきゃな。

こゆび うん。

燕太郎 おわー懐かしい！ 糸引きくじじゃん！ 久しぶりに見た。覚えてる？

こゆび 覚えてるよ。

燕太郎 ドキドキしたなあ。自分の糸がどの景品につながってるのか引つ張るのすごいわくわくしたなあ。

こゆび まあ今こうしてみるとどれも子供だましのおもちゃだけだね。

燕太郎 そうだな。

こゆび ねえエンタロー。

燕太郎 どした？

こゆび どうして思い出話しかないの？

燕太郎 そんなの決まってるだろ。

燕太郎 未来の話がしたかったか？

こゆび ううん。別に。未来なんてどうでもよかったや。

燕太郎 そう。

こゆび うん。夢も希望もないよ。

燕太郎 ……またそんなこといって。

こゆび ないもん。お母さんはいなくなつたしお父さんはあんなだし、勉強はできないうしやりたいこともない。

燕太郎 友達は。

こゆび 一緒にいる時は楽しいけど、ひとりだなんて思うときもある。そっか。

燕太郎

こゆび

大学行けるかもわからないし、行ったとしても就職できるかわからない。就職しても結婚できるかわからないし、結婚しても子供を産んでちゃんと育てられるかわからない。どうせブラックな会社で売れ残ってセクハラとパワハラに耐えながら1人で老いていくだけでも。女としての役割を全うできない奴だと後ろ指さされながらそれでも痛みに耐えながら女としての機能を垂れ流し続けなくちゃならないんだ。

燕太郎

こゆび。お前はさ……愛される自信がないんだ。

こゆび

ないよ！ そんなのなにに決まってるじゃん！ だって、かわいくて勉強もできていつともキラキラしてるジャスマンでさえ死にたいって思うのに、どうして私が生きていたって思えるの？

燕太郎

生きていたいなんで、当たり前すぎてほとんどの人が思っていないよ。

あたりが真っ暗になる。(暗転してこゆびも燕太郎も見えなくなる)

こゆび

エンタロー？ ……どこ？ どこいったの？ 何も見えないよ。どこ？ どこにいけばいいの？ 見えない。怖いよ。エンタロー！

突然光に包まれる。燕太郎が下を見ていう。

燕太郎

先に落ちてるから、後から来いよ。

こゆび

待つてよ！ 一人にしないで。私も連れてって。

燕太郎

お前には勇気が足りないよ。勇気が出たなら落ちてこい。

こゆび

勇気ってなに？ ねえ、待つてよ！

暗転。意識が戻ると、リオがこゆびの腕をつかんでいる。気が付くと、あと一歩で崖から落ちるところにいた。

こゆび

え、え？ リオ先輩？

リオ

ごめん。偶然見かけて。声かけようとしたら、道じゃ無いところに入って

こゆび

てくから……。

リオ

私……。

こゆび

どうしたの？ こんなところまで……。

リオ

責任とってよ！

こゆび

え？

リオ

一生私のそばにいて誓える？

こゆび

ちよつと、なに？

リオ

幸せにできるの？ ねえ？ どうなのよ！？

こゆび

落ち着いて。

こゆび

私怖い！ 落ちるの怖い！

だって落ちたらどうなるかわからないんだもん！

リオ
こゆび
リオ
こゆび

どうして落ちる必要があるんだよ！
だってだって落ちないと何も変わらない！
でもだからってなにも飛び降りなくても！ 他にも方法はある！
違うの落ちたいの！ 本当は落ちたいの！ とってもとんでもなくて
も怖いけど、でもどうせ永遠なんてないのだから、私は今の自分にサヨ
ナラするの！

燕太郎、後ろから現れ、2人を突き落とす。

こゆび・リオ うわああああああああ！

暗転。

朝。気が付くとそこはこゆびの部屋。布団の上にいるこゆび。勢いよく上体を起こし、辺りを見回す。

こゆび ……あれ？

こゆび ……夢？

窓をたたく音。見ると燕太郎がいる。

燕太郎 おはようございます。いやあすっごい寝顔でしたねまったく。

こゆび うるさい！ 寝顔見るとかサイテー。朝っぱらから何の用？

燕太郎 迎えに来たぜ。馬に乗って。

こゆび 馬あ？

窓の外を見ると、燕太郎の家の庭先で、送り火をしている。

こゆび あのさあ。白馬じゃなくて茄子馬じゃん。

燕太郎 ちなみに茄子は牛だけだな。どうする？ 一緒に行く？

こゆび いかないよ。

燕太郎 あらそっか。

こゆび もう少し頑張るわ。運命に従うでも立ち向かうでも。

燕太郎 そっか。がんばれよ。約束な。

こゆび ああ、約束。

2人、小指を交わす。電話がかかってくる。

燕太郎は、こゆびが振り返って電話に出る間に、煙と共に消えていく。

こゆび

ジャスマミン！？ あー生きてた？ 大丈夫？ よかったー！ 心配したよー。うん、うん、はははそっか。うん、うん。えーうそ！？ マジで？ どゆこと！？ 詳しく詳しく！ えーなんでよ今今！ えーもー。じゃあみんな遊びに行こう。うん、今日で補習終わるし。えーそうじゃんもうあと2週間しかないじゃん。ありえな。うんまあまた。じゃね。あ待ってジャスマミンそーだ！ 部活どうすんの？ あはははは！ そっか！ はいはい！ あんた最高！ うんうんオッケー！ じゃあまたね！

学校の教室。グラウンドではサッカー部が活動してる。

こゆび アラジンのバーカ！ 人でなし！ 地獄に落ちろ！

窓の下にはアリエルが。

アリエル 本当何回言ってもわからないんですね。バカなんですか？

こゆび バカだから補習受けてるんですー！

アリエル バーカバーカ！

こゆび バカって言う方がバカなんですー！

アリエル はいはい。

リオが教室に入ってくる。

こゆび どーせあんたたちだっっていつか別れるんだから！ 今に見てろ！ 絶

対大泣きするんだから！

アリエル それのなにが悪いんですか？

アリエル

いつか終わりが来るなんてわかってます！ でも私は終わるまでは愛だっって信じてますから！ つながりが切れても共に紡いだ時間は無くなりませんから！ ちゃんと私のことを包んでくれるっって信じてますから！

こゆび そんなの私だっってわかってんだよ！ バーカ！

アリエル バカって言う方がバーカ！

こゆび うるせえ！ 1年のくせに生意気なんだよ！ ジャスマシンの分も働け！

行ってしまうアリエル。

リオ なにまた小学生みたいなことやってんだよ。

こゆび おお、リオ先輩。いたんですか。(深呼吸)

リオ しっかしほんとかそ暑いな。教室で勉強って効率悪すぎるだろ。

こゆび ほんとですよね。

リオ そういえばさ、お前バイトしねえ？

こゆび バイトですか？

リオ どーせ夜暇してるんなら働いた方が金になるし。あと賄いも出るし。

こゆび うち今ちようど人足りてなくて募集してるから。

リオ やりませう。

こゆび あほんと？ じゃあ店長に言っとくわ。一応履歴書用意してね。

リオ わかりました。

携帯に目を落とすリオ。

こゆび リオ先輩って、どうしてアマチュア無線なんてやってるんですか？
リオ どうしてって？
こゆび 青春を捧げるには地味じゃないですか。
リオ 帰宅部が言うな。

リオ ーとね、中学の時だったかなあ。姉ちゃんがさ、男からトランシーバーをもらってて。
こゆび トランシーバー？
リオ そう。誕生日プレゼントに、トランシーバー。意味わかんない？
こゆび 意味わかんないですね。
リオ それでいらなからってそのままもらったんだけど。なんかそれがちよつと面白くてさ。そのまま無線にはまつちやつた感じかなあ。
こゆび (笑いをこらえている。)

リオ どうした？
こゆび いえ、なんでもありません。
リオ それにしても遅いなあみんな。
こゆび みんな来ないです。
リオ え？ なんで？
こゆび 今から告白するからです。

リオが振り返ると、黒板に大きく「スキ」と書かれている。

こゆび ……です！
リオ え、まじで？ 本当に？
こゆび 本当に！
リオ おおう、そっか、ありがとう。
こゆび 先輩はどうですか！？
リオ お、俺も……同じ。
こゆび 同じってなんですか！？
リオ だから、俺も、それです。
こゆび ちゃんとやってくれないとわかりません！
リオ ええ、ずるい！ そっちだと言ってない！
こゆび だって恥ずかしいんですもん！

リオ ……じゃあ、せーので同時に言うのは？
こゆび ……わかりました。
リオ じゃあいくよ？ せーの！

それは、女の子なら誰もがときめく夢のような恋の憧れ。
世界中がもつとキラキラになるふた文字が。教室の中にこだまする。幕。